

解答

一

- 問一 ① 裁判 ② 往復 ③ 敬う
問二 ① うけたまわ〔り〕 ② おこそ〔かな〕 ③ しょうじん
問三 幕
問四 しめすへん
問五 ア
問六 イ

二

- 問一 【エ】
問二 ア
問三 ウ
問四 ウ
問五 自らの造形物に森羅万象の様々な形を描きしるし、その力を借りようとしたから。
問六 イ
問七 イ
問八 一体化
問九 日々の瞬間に、宇宙の中で自分が生きていると感じていること。
問十 作り手は
問十一 エ

三

- 問一 ウ
問二 エ
問三 ア
問四 司道なら簡単で自分にもできるかもしれないという考え。
問五 エ
問六 荷
問七 私ではなく松原さんを試合に出してください
問八 イ
問九 ア
問十 ウ
問十一 イ
問十二 ウ

解説

二

- 問六 線⑤の少し後にある「もしかするとうずまきは、」で始まる段落から、筆者の考えが読み取れます。「この世の中の不思議なこと、大切なこと、美しいこと、自然なことに共通する根本存在かもしれない。」という記述から、選択肢イがふさわしいとわかります。
問十一 本文の最後の段落に着目します。お子さんの粘土細工に「うずまき」があるかを探すのは、縄文の応用として面白いことであり、日常を新たな視点で見ることでもあると述べ、いろいろなものに接する目を持つことが、縄文という文化、精神を現代に生き続けさせるという内容から選択肢エが選べます。

問三

前の部分から、早弥は「へたっぴな自分が選ばれるわけがない。」とと思っていることがわかります。また、――線③に含まれる「発表してあげればいいのに」から、自分以外の三人が選ばれると考えていることが読み取れるので、選択肢アが選べます。

問十一

――線⑩の後に、春について説明があります。小学校五年生で日本の小学校に転校してきたことや、外国人は珍しい地方都市で、アフリカ系の父を持ち、肌の色のちがいや、日本語があまり上手ではなかったことから、周囲の理解を得るのに苦労した様子が伝わってくるので、「人一倍苦労してきた」という記述を含む選択肢イが選べます。